

# 第 1 7 回経済常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	平成 2 7 年 3 月 2 4 日 (火曜) 1 3 時 3 0 分 開会		
	休憩 14:29 -14:30		
	1 4 時 3 0 分 閉会		
会議場所	役場 3 階 第 1 委員会室		
出席委員 氏 名	委員長 常通 直人	委 員 正村紀美子	議 長 広瀬 重雄
	副委員長 齋藤 幸子		
	委 員 小椋 孝雄		
	委 員 柴田 正博		
欠席委員 氏 名			
会議に出席 した説明員	水道課長	白木 雅博	
	課長補佐	西川 一浩	
	課長補佐	清水 あけみ	
事務局職員		事務局次長 剣持和裕	書記 大石真澄
『会議に付した事件と会議結果など』			
<p>1 開 会 委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明。</p> <p>2 議 件 (1) 調査事項 ア 上水道事業施設整備基本計画策定業務について <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料 1</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当課から説明後、質疑を行う。</li> <li>・正村委員：アセットは2025年までなので、事業費も2025年まで示さなければ意味がないのでは。</li> <li>・白木課長：概算事業費については積み上げているが、現在の計画内容では細かい部分までの積み上げは難しいので、今回のような表現になっている。</li> <li>・正村委員：P11 の「アセット上の更新計画によるため計上しない」の表現では分かりにくい。</li> </ul>			

- ・西川補佐：表現については改善する。
- ・正村委員：ケース0・0-A、ケース4・5について、水源の調査を行わなくても、きちんとした比較検討が可能なのか。
- ・白木課長：自己水源を確保するという方向性は、庁舎内でも一定の理解を得られている。今後は、水源確保の確実性をいつまでに担保するかが課題であり、ここを確保しないと先には進めないと理解している。  
ケース4・5の場合は深井戸新設のため、調査場所をどこにするか、何カ所調査するのか等不確定要素が大きく、経費がかさむ可能性が大きい。ケース0・0-Aは、現在の水源に近いと、ある程度見通しがたつとの推測から選択した。
- ・正村委員：水源をどうするかが当初からの課題。恒久的な水供給のためには、水源の調査をしなくて本当に大丈夫なのか。
- ・白木課長：自己水源にするのか企業団受水にするのか、決定しなければ水源調査の費用を確保できない。今回の計画によって、水源調査を進めたい。
- ・正村委員：委員会からも申入れしているが、町民が現状を把握できるような情報提供が必須。情報提供はいつ頃行うのか。
- ・白木課長：今回の資料はたたき台的なもの。公表できる段階にはない。
- ・正村委員：結論がでるのはいつなのか。
- ・白木課長：H27年度予算に調査費は計上していない。時期は明示できないが、早急に対応したい。
- ・齋藤委員：事業費の財源をどこに求めるのか不明確。そこを示さなければ意味がない。料金改定ありきで進める考えなのか。であれば、改定時期を示すべき。
- ・西川補佐：2020年までは現状料金でいけるとの試算が出ている。
- ・齋藤委員：水道施設の状況や料金改定も含め、トータルでの情報提供が必要。
- ・白木課長：資料に記載の40%は、現実的な数字ではないと考える。料金改定時には、実施可能な数字を検討する。

### 3 その他

(1) 次回委員会開催日程 正副一任

(2) その他 なし

以上をもって、閉会する。

傍聴者数	一般者	1名	報道関係者	1名	合計	1名
記載のとおり報告する。						

平成27年3月24日

経済常任委員会委員長 常 通 直 人